

折に触れ 四字熟語

NO. 79 『冒雨剪韭』 ぼうう せんきゅう

< 意味 > 友人の来訪を喜んでもてなすことのたとえ。雨をおかして、にらを摘んでごちそうを作る意から。

「雨をおかしてにらを剪る」と訓読する。

出典：「郭林宗別伝」

故事：中国後漢の郭林宗が、夜に友人が来訪したとき、雨にもかかわらず、にらを摘み、ごちそうを作ってもてなした故事から。

語釈：「冒」はおかす、押し切ってする意。「剪韭」はにらを摘む意。

一言：雨シリーズ その4

今年の梅雨は今までのところ、降雨量はそんなに多くない感じです。

そんな中、「2018 ワールドカップ」がロシアで開幕になりましたが、日本チームは初戦で格上のコロンビアに勝利し、梅雨空のうっとうしさを吹き飛ばしてくれました。さらなる活躍が期待されます。

参考文献：三省堂「四字熟語辞典」